

# 議会改革調査特別委員会

## ～ 4年間の活動を振り返って～

### 開かれた議会をめざし ライブ・録画配信を導入

当委員会が最初に取り組んだ改革は、議会本会議・特別委員会のライブ・録画配信です。これまで使用してきたシステムを活用しました。録画配信では、聴覚に障がいがある方に分かりやすいよう、字幕を付けています。



議会のライブ・録画配信はこちらから録画はいつでもご視聴いただけます



保健事業と介護予防を一体に捉えて、ライフステージに応じた切れ目のない支援を提供し、町民の皆さんが健康に関心を持って主体的に予防に取り組んでいただけるよう環境づくりを進めてまいります。

### 議会運営の効率化を図るため タブレット端末を導入

令和4年11月から、ペーパーレス会議システムを導入し、紙などのコスト削減、議会運営の利便性向上に取り組みました。

約3年間のコスト削減 (システム保存された紙を集計)

削減できた資料(紙)の枚数 **178万7116枚**  
もし、段ボール箱に保管した場合… **約4000箱**

そのほか、紙を印刷する作業にかかる人件費の削減、保管場所も縮小され、資料の追加・修正作業時間の短縮などの業務効率化を図りました。

### 議員のなり手不足を解消し、優秀な人材の確保を

現在、全国の地方議会では、議員のなり手不足により、約30%の議員選挙が無投票となっています。

なり手不足などにより優秀な人材を確保することができない場合、町民の声が町政に届きにくくなるのが懸念されます。

そこで、今期から議員定数を14人から12人に変更したこともあり、議員選挙に立候補しやすい環境づくりなどを目的に、議員報酬額の見直しに取り組みました。

全国の自治体の情勢を分析しながら、政務活動費の導入も含め慎重に協議を重ね、町長に議員報酬の見直しの要望書を提出しました。その後、報酬審議会を経て令和7年4月から議員報酬月額5%増額に至りました。

そのほかの取組として、小学校校区コミュニティの方々との座談会、近隣の須恵町議会議員の方々との予算・決算審査方法などの意見交換を実施、また、議長・副議長の立候補制導入を協議するなど、議会改革に努めました。



ペーパーレス会議システムを活用した会議

#### 【宇美町の議員報酬月額】

※議長等の役職を除く  
令和6年度まで  
月額 **275,000円**

令和7年度以降  
月額 **289,000円**



伝統を大切にしながら新しいことにも挑戦する姿勢が、議会を活性化させ、町民の皆さまからの信頼度を高め、ひいては町民福祉の向上につながると信じています。今期の取組を通じて、優秀な人材が選出され、町民一人ひとりの願いが町政に届けられることを願っています。

# 総合計画

### 私の視点「なぜここを質問したか」

令和5年に策定された第7次総合計画は、前半4年間の前期実践計画を終えようとしている。第7次総合計画のこれまでの成果と今後の課題についてお尋ねしたい。



やすかわ よしゆき  
安川 禎幸 議員

## 第7次宇美町総合計画の 成果と課題は

答弁 (町長) 財源確保では、ふるさと納税額など過去最高となった。さらに取組を強化していく。

録画配信は  
こちらから▶



**問** 第7次総合計画の基本目標「学校教育の充実」「子育て支援の充実」の成果と課題は。  
**答** 教育長 それぞれの取組が軌道に乗ったことが成果と考える。「学校教育の充実」の重点的取組は、教育支援センター設置、学びの多様な学校開校などの教育環境整備。また、水泳学習の民間委託、学力向上推進拠点校を核とした授業改善を行った。課題は、学校体育館のエアコン設置、中学校部活動の地域展開、教職員の時間外在校等時間の縮減である。「子育て支援の充実」の重点的取組としては、こども計画の策定、こども家庭センターやこどもの居場所の開設、こども会議の実施、第3子以降の保育料無償化などを行った。課題は、こどもの居場所の利便性を高めるなどの支援のワンストップアクセスの充実、特に高校生世代がこども家庭センターの支援にアクセスする点などである。

**問** 総合計画の重点目標「子育てしやすいまち」の未来像は。  
**答** 教育長 子育てしている方や、子育てしようとする方々が、やっぱり宇美町がいいと住み続けていた、それが私の考える「子育てしやすいまち」の未来像である。  
**問** 総合計画の中で町長が特に力を入れた施策は。  
**答** 町長 まず財源確保として、収納率の向上、企業版ふるさと納税の取組を強化した。収納対策室の設置などにより、過去最高の収納率となった。ふるさと納税専任の係を編成する体制強化により、過去最高の寄附額を記録した。政策面は、総合計画の重点方針として、子育てしやすいまちの実現、シニアプロモーションの推進、自治体DXの推進に特に力を入れた。

質問を終えて  
「第7次総合計画」は着々と成果を上げていっていると感じる。施策の検証と今後の取組に期待したい。



宇美町ふるさと納税で人気のうなぎ

**問** 町長 まちづくりの課題は、自治体DXの推進、道路交通網の整備、特に道路整備に対する財源確保として、国への要望を強化し、整備を加速していく必要がある。総合計画にある「このまちが、いい。わたしたちの誇り宇美」がめざすべき未来像であり、宇美町に住んでよかったと思っただけのまちづくりを進めていく。